



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年4月25日発行

合い言葉 **やればできる**

新しい自分探しの旅

校長 土岐 邦寿

令和7年度が桜の花満開の中で始まりました。4月9日の入学式では、17名の初々しい顔が体育館に並びました。緊張した雰囲気の中で、精一杯取り組もうという意気込みが感じられました。全校生徒44名で出発しました。今年度も保護者の皆様、地域の皆様と共に子供たちの教育に努めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

田代中学校の生徒は素直で明るく、素晴らしい可能性を持っている子供たちの集まりです。中学校は小学校と違い学習中心となります。学習といえば知識を覚えること、記憶すること、技能などが向上することと考えがちです。しかし、大人社会で役に立つのはこの知識や技能だけでなくそれらを活用する能力であり、変化する社会に柔軟に対応できる力が求められます。人間は色々な困難を乗り越える知恵を持っており、それを活用することが生きる力となっています。中学校時代は学校生活において、学習や行事、部活動などを通して、自ら考え、判断して行動する力や表現力、望ましい人間関係を作っていくことが大切です。中学生としてどう生きていくか、将来の夢に向けてどのように踏み出していくのか、悩むことがたくさんあると思います。でも挑戦する気持ちを忘れず、前向きにつき進んでほしいと思います。本校の合い言葉である「やればできる」を忘れず、一步一步前進する力を大切にしてほしいと思います。

まだ自分が気づいていない新しい自分を見つけるためにはどうしたらいいのでしょうか。秘訣みたいなものがあるのでしょうか。キーポイントを2つ紹介します。まず1つ目は「自分を好きになる」ことです。自分を好きにならなければ頑張ろうという前向きな気持ちは生まれてきません。長所だけでなく短所も含めて丸ごと自分を好きになることが大切です。1人1人が個性があり、良いところはあります。これからの可能性は無限大です。短所も見方を変えれば長所になります。自分のことをプラス思考で受け止め、友達のこともプラス思考で受け入れることにより、より大きな力となります。プラス思考で周りを見つめることにより、今まで気づかなかった見方や考え方を持つことができます。「やればできる」の言葉どおり挑戦することによって、少しずつ自信を持ってほしいと思います。

もう1つは結果はすぐに出てこなくても「チャレンジする心を持ち続ける」ことです。中学校では学習内容も難しくなります。部活動や習い事でもなかなか成果が現れないことがたくさんできます。結果ばかりを求めていると、自分は向いてないんじゃないかと諦めたり、自信をなくしたりしてしまうことは出てきます。しかし、自分の理想とする形が出なくても諦めることなく、目の前のことからコツコツと丁寧にやっていると次第に結果が見えてくる場合があります。続けていくことにより、少しずつ結果が出てくると努力する喜びや工夫する楽しさが見えてきます。そして、気づいたら一步一步前進している自分がそこにいます。そんな自分に出会えたら、大いに自分自身を褒めてほしいと思います。

新しい学年になりました。お互いに支え合い、励まし合って、新しい自分を見つけてほしいと思います。先生方も保護者も地域の方々もみんなで応援していきます。田代中学校をみんなで盛り上げていきましょう。